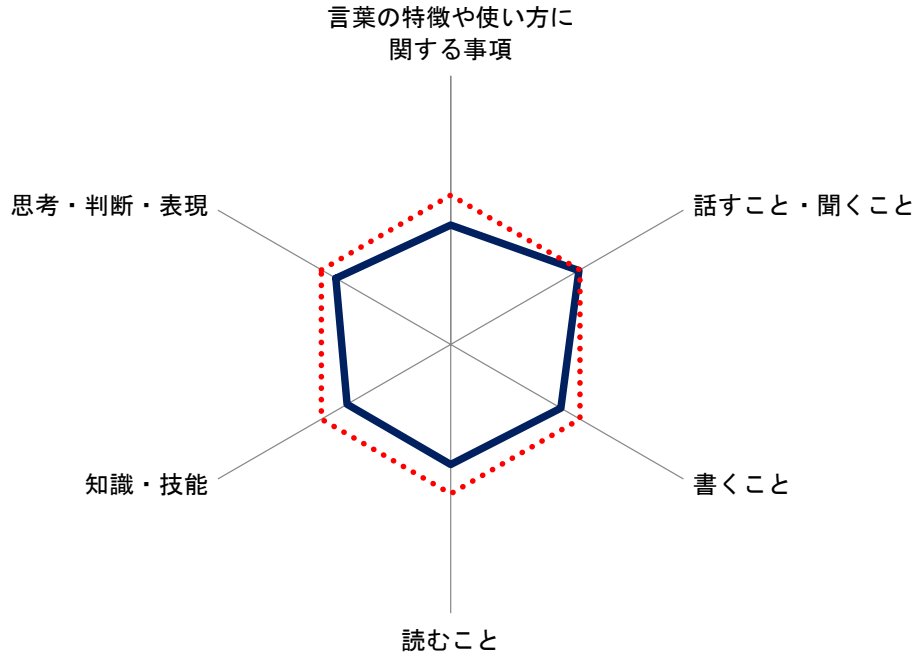


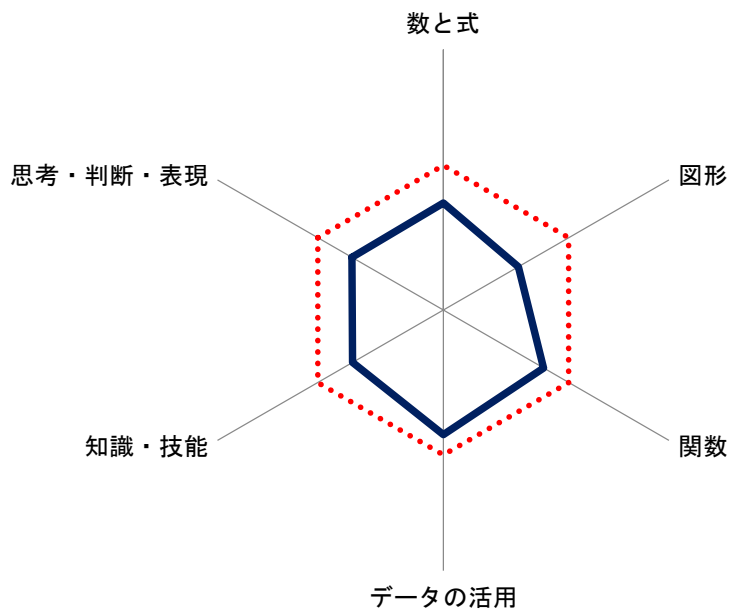
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 今治東  
..... 全国平均



【数学】

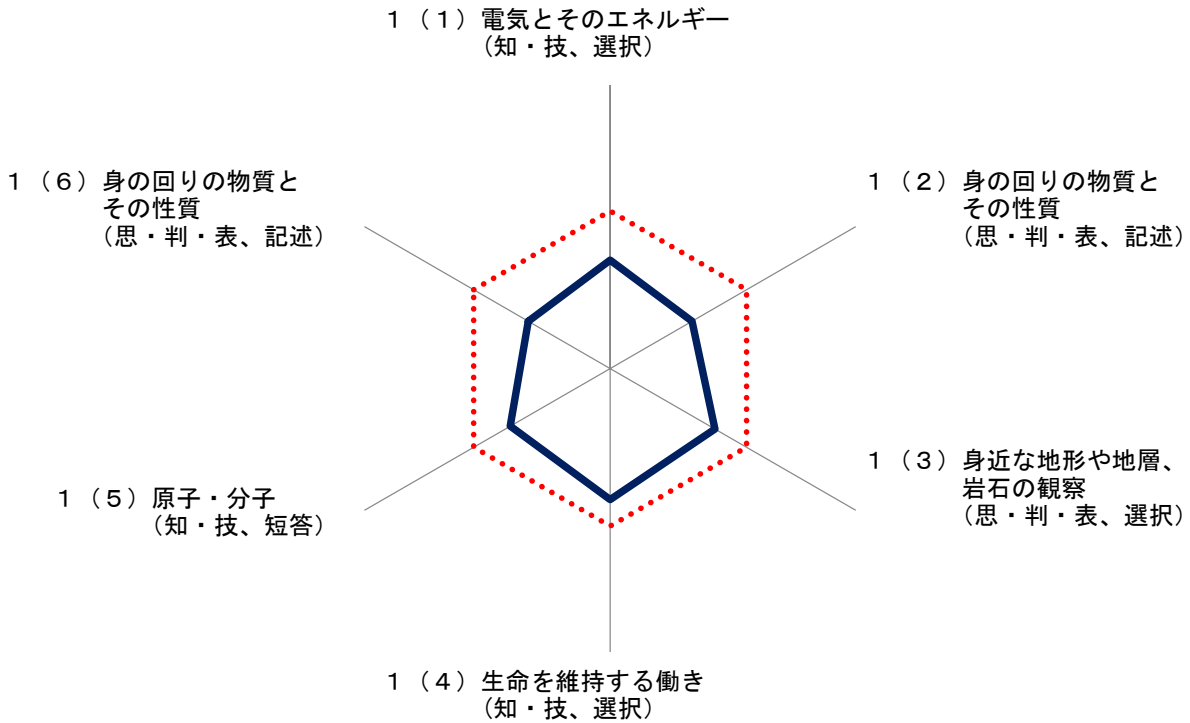


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

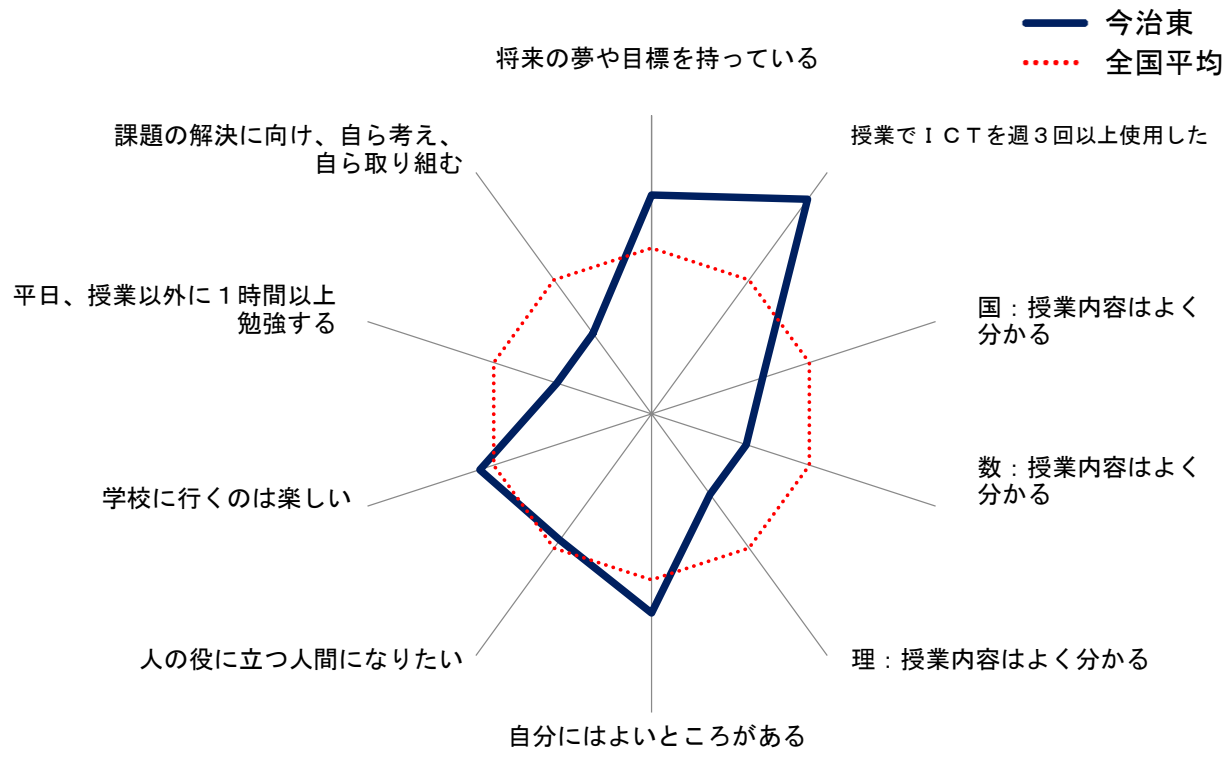
【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに  
全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの

— 今治東  
..... 全国平均



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



## ○ 結果の分析と改善策

### 【国語】

思考力、判断力、表現力等を問う問題のうち、「話すこと・聞くこと」に関する問題の正答率が比較的高かった。特に、自己の伝えたいことを的確に伝えるために表現を工夫する問題の正答率が全国平均より高かった。また、話し手の発言の意図を問う問題の正答率が78%であった。一方、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題のうち、「書くこと」「読むこと」に関する問題の正答率が全国平均より低かった。本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選ぶ問題、文章の構成や展開の工夫について自己の考えを述べる問題、読み手の立場に立って表現を修正する問題に課題が見られた。

今後も、漢字や言葉の意味などの基礎知識を確実に定着させるための指導を継続したい。そして、文章を読み、内容を理解することに留まるのではなく、表現の意図や文章に書かれている内容に対する自分の意見を持ち、それらを交換することを通して自己の考えを深めるなど、「読むこと」「書くこと」に関する学習の充実を図り、思考力、判断力、表現力等の向上に努めたい。

### 【数学】

「数と式」「データの活用」の領域において、知識・技能に関する基礎的・基本的な問題は、正答率が比較的高かった。ただし、「素数」を正しく理解できていない生徒の比率が非常に高く、基本的な計算の処理はできているが、用語等を正しく理解できていない可能性が見られたので、今後の課題としていきたい。「図形」の領域は、知識・技能に関する基礎的・基本的な問題の正答率が低かったため、思考・判断・表現に関する問題の正答率も低くなっており、まず基本的な内容の定着が必要であることがうかがえた。また、記述式で答える問題の無解答率が高かったため、基礎学力の定着を図りながら、それに基づいた思考力、表現力を身に付ける指導も意識していきたい。さらに、習熟度に合わせた授業内容の検討と個々に応じたきめ細やかな指導を継続していきたい。

### 【理科】

「エネルギー」を柱とする領域と「粒子」を柱とする領域において、知識・技能に関する基礎的・基本的な問題は、正答率が比較的高かった。また、「地球」を柱とする領域において、予想から判断を選択式で解答する問題の正答率が全国平均より高かった。一方、4領域とも、思考・判断・表現に関して記述式で解答する問題の正答率が低くなっており、基礎的・基本的な学習内容の定着を図りつつ、自ら考察し、表現する力を身に付ける指導も進めていきたい。総合的な学習の時間で得られる探究活動や、理科の観察・実験を通して、じっくり考えて課題を解決する楽しさを味わわせる指導も継続していきたい。

### 【生徒質問】

「将来の夢や目標を持っている」と思っている生徒が全国平均を大きく上回っており、「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」など、前向きな考えを持つ生徒も全国平均を上回っている。起床時間や就寝時間など基本的な生活習慣を確立している割合も高い。ただし、家庭での学習時間や読書の時間が少ないため、基本的な生活習慣を維持しながら学習時間などを増やしていくことが今後の課題である。また、ICTを活用し、情報を収集・整理したり、プレゼンテーションを作成したりすることを苦手とする生徒も多い。授業でのPCやタブレットの活用は全国平均を上回っているため、情報を収集して整理したり、プレゼンテーションを作成し発表したりする場面に授業で取り入れながら、生徒のICT活用能力を育成していきたい。全体として物事を考え、それを自分の言葉で表現することに対して苦手意識を持っている生徒が多いため、表現する力を身に付ける授業や学級活動を意識して増やしていく必要があり、そのような学習活動を通し、さらに「学校に行くのは楽しい」と思えるようにしていきたい。